

## 愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

## 研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の結果(血液検査結果、心エコーの所見)を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や検査結果を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	ATTR型心アミロイドーシス症例の $^{99m}\text{Tc}$ -PYPシンチによるSPECT/CTでの心筋集積定量値と臨床指標との相関
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名)放射線科 (職名)准教授 (氏名)川口 直人
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2028 年 3月 31日
対象となる方	2023年6月1日~2026年3月1日に当院で $^{99m}\text{Tc}$ -PYP SPECT/CTを施行した患者
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報)年齢、性別、発症時期、既往歴、画像検査データ、血液検査データ、心エコー所見、治療状況 等
研究の概要 (目的・方法)	トランスサイレチン型心アミロイドーシス(ATTR-CM)は、心臓に異常なタンパク質がたまり心不全を引き起こす病気で、早期発見と重症度の評価が重要です。 $^{99m}\text{Tc}$ -PYPシンチグラフィは体に負担の少ない検査として広く使われていますが、従来の評価方法は心臓への集まり方を平面的に見るため、病気の程度を正確に反映できない可能性があります。近年は、SPECT/CTを用いて立体的に集積量を評価する方法が注目されています。本研究では、この新しい指標と血液検査や心エコーの結果との関係を調べ、その有用性を明らかにします。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたし

	<p>ます。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。</p> <p>また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院放射線科 川口直人 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5371